

Dell Vostro 270s

オーナーズマニュアル

規制モデル: D06S
規制タイプ: D06S001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2012 Dell Inc.

本書で使用されている商標：Dell™、DELL ロゴ、Dell Precision™、Precision ON™、ExpressCharge™、Latitude™、Latitude ON™、OptiPlex™、Vostro™、および Wi-Fi Catcher™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core™、Atom™、Centrino®、および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™、AMD Sempron™、AMD Athlon™、ATI Radeon™、および ATI FirePro™ は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。Microsoft®、Windows®、MS-DOS®、Windows Vista®、Windows Vista スタートボタン、および Office Outlook® は米国およびまたはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Blu-ray Disc™ は Blu-ray Disc Association (BDA) が所有する商標で、ディスクおよびプレーヤーで使用するライセンスを取得しています。Bluetooth® の文字マークは Bluetooth® SIG, Inc. が所有する登録商標で、Dell Inc. はそのようなマークを取得ライセンスのもとに使用しています。Wi-Fi® は Wireless Ethernet Compatibility Alliance, Inc. の登録商標です。

2012 - 10

Rev. A00

目次

メモ、注意、警告.....	2
章 1: コンピューター内部の作業.....	5
コンピューター内部の作業を始める前に.....	5
コンピューターの電源を切る.....	6
コンピューター内部の作業を終えた後に.....	6
章 2: コンポーネントの取り外しと取り付け.....	7
奨励するツール.....	7
カバーの取り外し.....	7
カバーの取り付け.....	8
前面ベゼルの取り外し.....	8
前面ベゼルの取り付け.....	9
ファンエアフローカバーの取り外し.....	9
ファンエアフローカバーの取り付け.....	10
ドライブケージの取り外し.....	10
ドライブケージの取り付け.....	12
オプティカルドライブの取り外し.....	12
オプティカルドライブの取り付け.....	12
ハードディスクドライブの取り外し.....	13
ハードディスクドライブの取り付け.....	13
拡張カードの取り外し.....	14
拡張カードの取り付け.....	14
コイン型電池の取り外し.....	14
コイン型バッテリーの取り付け.....	15
メモリの取り外し.....	15
メモリの取り付け.....	15
電源スイッチの取り外し.....	16
電源スイッチの取り付け.....	16
ヒートシンクアセンブリの取り外し.....	16
ヒートシンクアセンブリの取り付け.....	17
入力/出力 (I/O) パネルの取り外し.....	17
I/O パネルの取り付け.....	19
プロセッサの取り外し.....	19
プロセッサの取り付け.....	20
システム基板の取り外し.....	20
システム基板コンポーネント.....	21

システム基板の取り付け.....	21
電源ユニットの取り外し.....	22
電源ユニットの取り付け.....	22
章 3: システムセットアップ	25
起動順序.....	25
ナビゲーションキー.....	25
セットアップユーティリティの概要.....	26
セットアップユーティリティを起動する.....	26
セットアップユーティリティの画面.....	26
セットアップユーティリティのオプション.....	27
Exit (終了)	29
BIOS のアップデート	29
忘れたパスワードのクリア.....	30
CMOS のクリア.....	31
システムパスワードとセットアップパスワード.....	32
システムパスワードとセットアップパスワードの割り当て.....	33
既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更.....	33
システムパスワードを無効にする.....	34
章 4: 診断.....	35
ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断.....	35
章 5: 仕様.....	37
章 6: デルへのお問い合わせ.....	41

コンピューター内部の作業

コンピューター内部の作業を始める前に

コンピューターの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- コンピューターに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

 **警告:** コンピューター内部の作業を始める前に、コンピューターに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピューターの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いしてください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックングタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックングタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピューターの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピューターの損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピューターのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピューターの電源を切ります（「コンピューターの電源を切る」を参照）。

 **注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピューターから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

3. コンピューターからすべてのネットワークケーブルを外します。
4. コンピューターおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
5. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。

- カバーを取り外します。

△ **注意:** コンピューターの内部に触れる前に、コンピューターの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

コンピューターの電源を切る

△ **注意:** データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

- オペレーティングシステムをシャットダウンします。

- Windows 7 の場合 :

スタート をクリックします。次に、シャットダウン をクリックします。

- Windows Vista の場合 :

スタート をクリックします。以下に示すようにスタートメニューの右下の矢印をクリックし、シャットダウン をクリックします。



- Windows XP の場合 :

スタート → 終了オプション → 電源を切る の順にクリックします。オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが完了したら、コンピューターの電源が切れます。

- コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押ししたままにして電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

- カバーを取り付けます。

△ **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピューターに差し込みます。

- 電話線、またはネットワークケーブルをコンピューターに接続します。
- コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
- コンピューターの電源を入れます。
- 必要に応じて Dell 診断を実行して、コンピューターが正しく動作することを確認します。

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

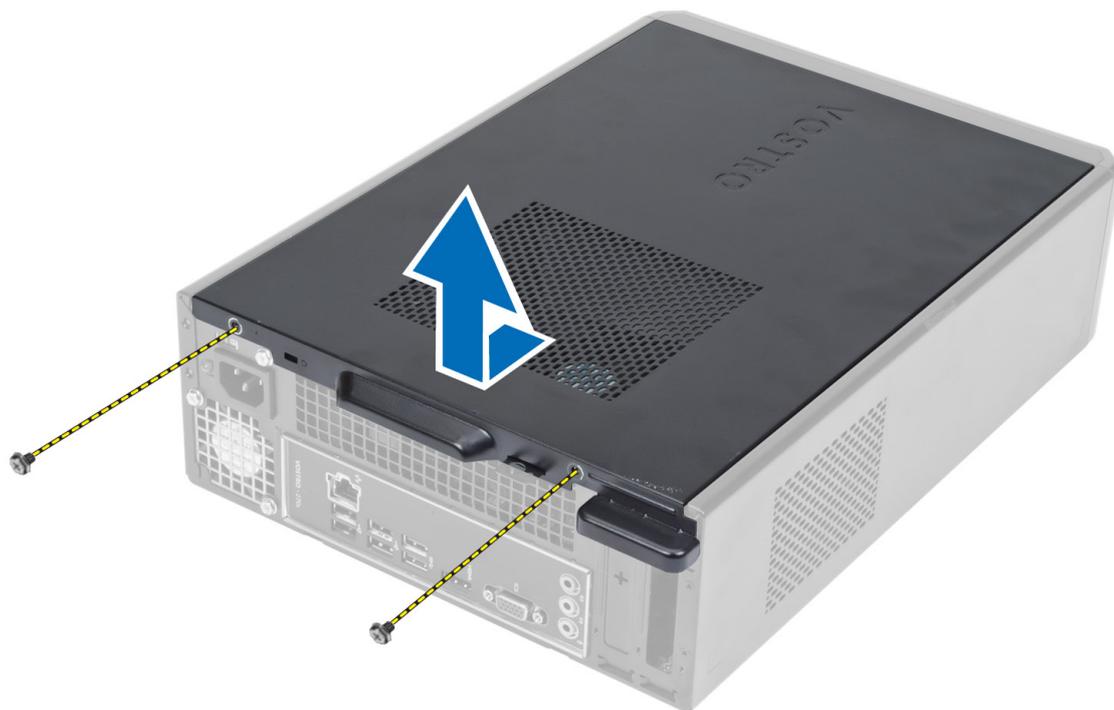
奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

カバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーをコンピューターに固定しているネジを外し、カバーをスライドさせて上へ持ち上げ、コンピューターから取り外します。

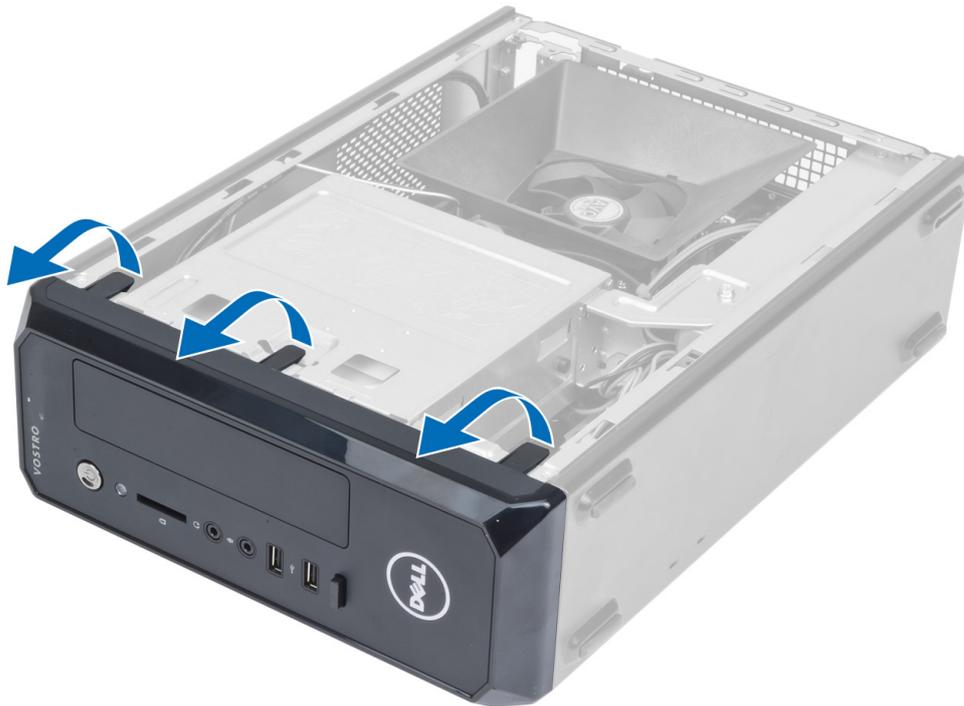


カバーの取り付け

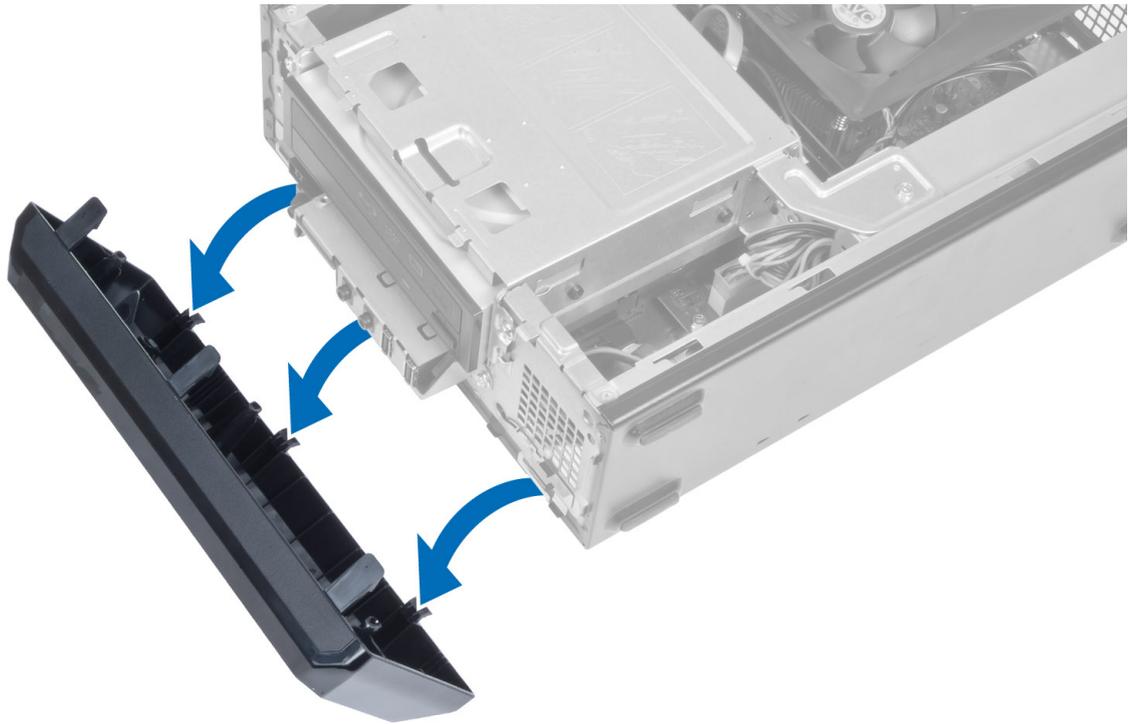
1. カバーをシャーシのタブに合わせ、カバーを元の位置にスライドさせます。
2. ネジを締めてカバーをコンピューターに固定します。
3. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

前面ベゼルの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. 前面ベゼルの側端にあるシャーシから、前面パネルの固定クリップをてこの作用で取り出します。



4. 前面ベゼルをコンピューターから外す方向に回転させて、ベゼルのもう一方の端にあるフックをシャーシから外します。



前面ベゼルの取り付け

1. シャーシ前面のスロットにある前面ベゼルの下端に沿ってフックを差し込みます。
2. カチッと所定の位置に収まるまで、ベゼルをコンピューターに向かって回転させて、前面パネル固定クリップをはめ込みます。
3. カバーを取り付けます。
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ファンエアフローカバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. ファンエアフローカバーを押さえながら、ファンエアフローカバーを固定しているタブを押し上げます。固定を解除し、コンピューターから取り外します。

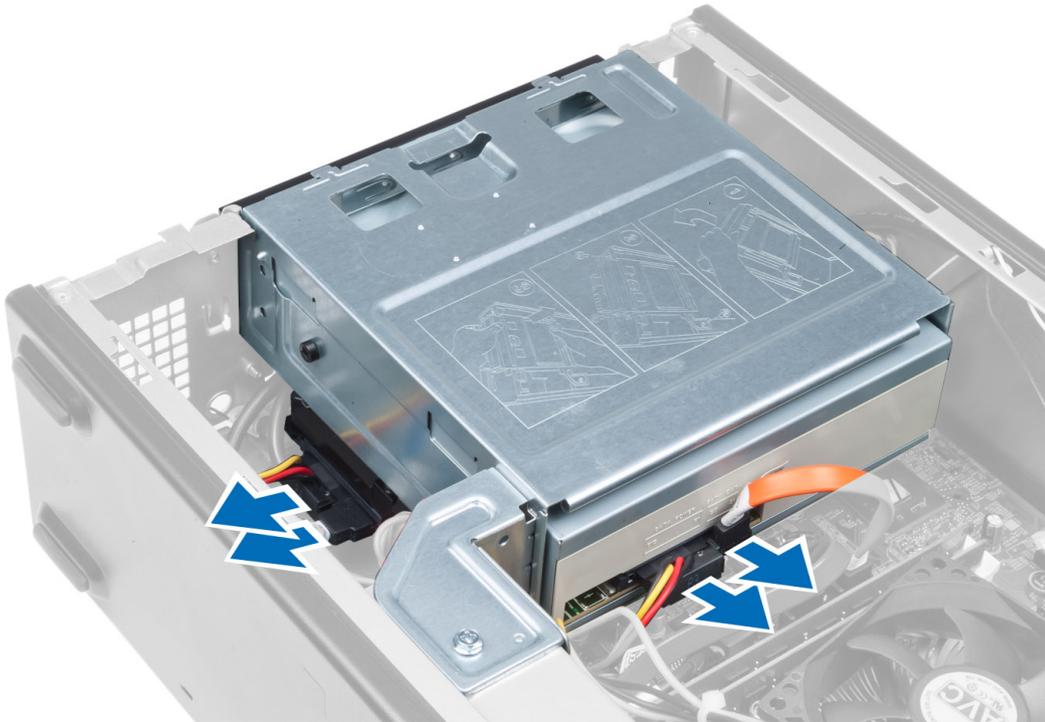


ファンエアフローカバーの取り付け

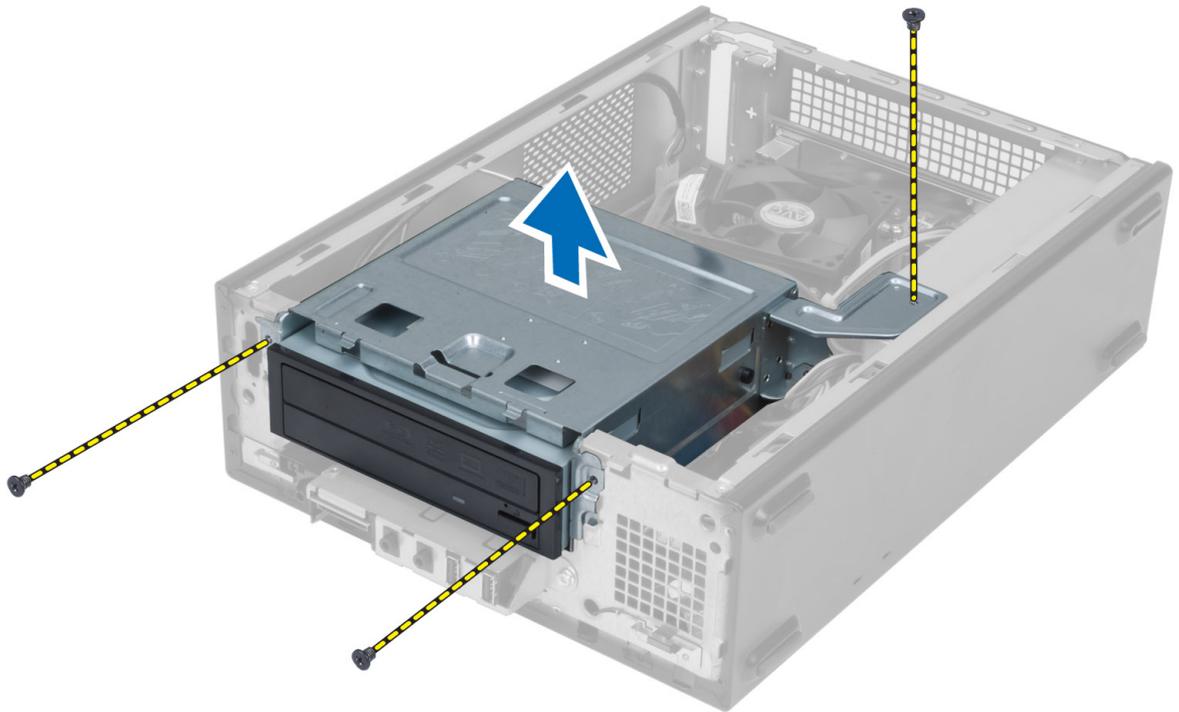
1. ファンエアフローカバーをプロセッサファンとヒートシンクアセンブリの上に設置します。
2. ファンエアフローカバーのタブがカチッと所定の位置に収まるまで、ファンエアフローカバーを押さえます。
3. カバーを取り付けます。
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ドライブケージの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) 前面ベゼル
3. 電源/データケーブルをハードドライブおよびオプティカルドライブから外します。



4. ドライブケースを固定しているネジを外し、ドライブケースを持ち上げてコンピューターから取り外します。

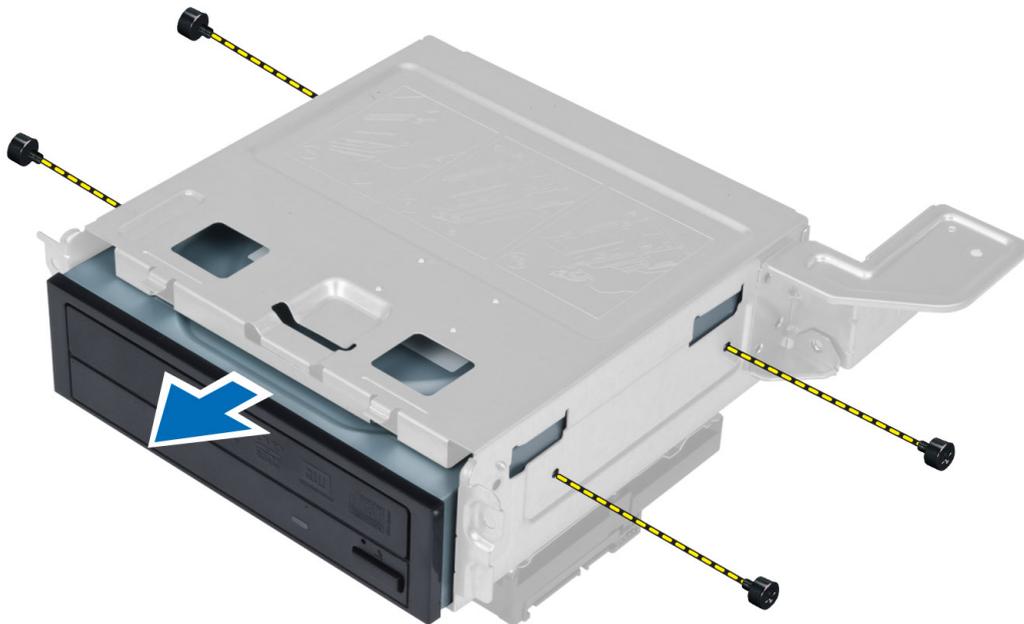


ドライブケースの取り付け

1. ネジを締めてドライブケースをコンピューターに固定します。
2. ハードドライブと光学ドライブの背面にデータケーブルと電源ケーブルを接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 前面ベゼル
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) カバー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

光学ドライブの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) 前面ベゼル
 - d) ドライブケース
3. 光学ドライブをドライブケースに固定しているネジを外し、光学ドライブをスライドさせてドライブケースから取り外します。



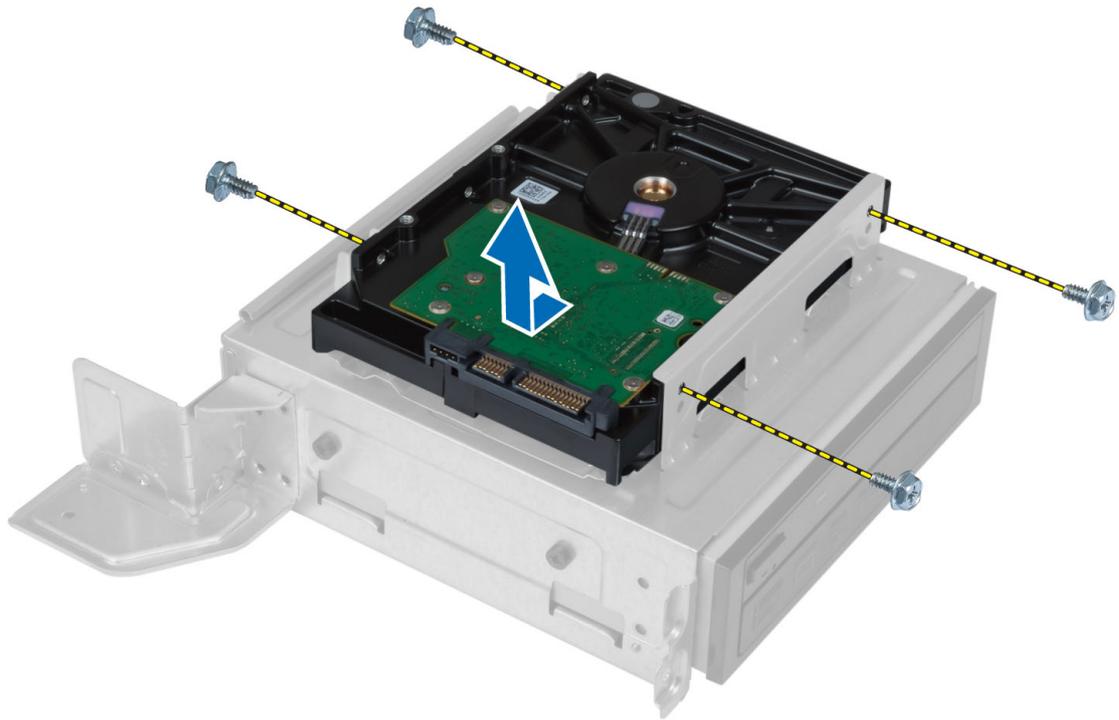
光学ドライブの取り付け

1. 光学ドライブをドライブケースに差し込みます。
2. 光学ドライブのネジ穴とドライブケースのネジ穴の位置を合わせます。
3. 光学ドライブをドライブケースに固定するネジを締めます。

4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ドライブケース
 - b) 前面ベゼル
 - c) ファンエアフローカバー
 - d) カバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードディスクドライブの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) 前面ベゼル
 - d) ドライブケース
3. ハードドライブをドライブケースに固定しているネジを外し、ハードドライブをスライドさせてドライブケースから取り外します。



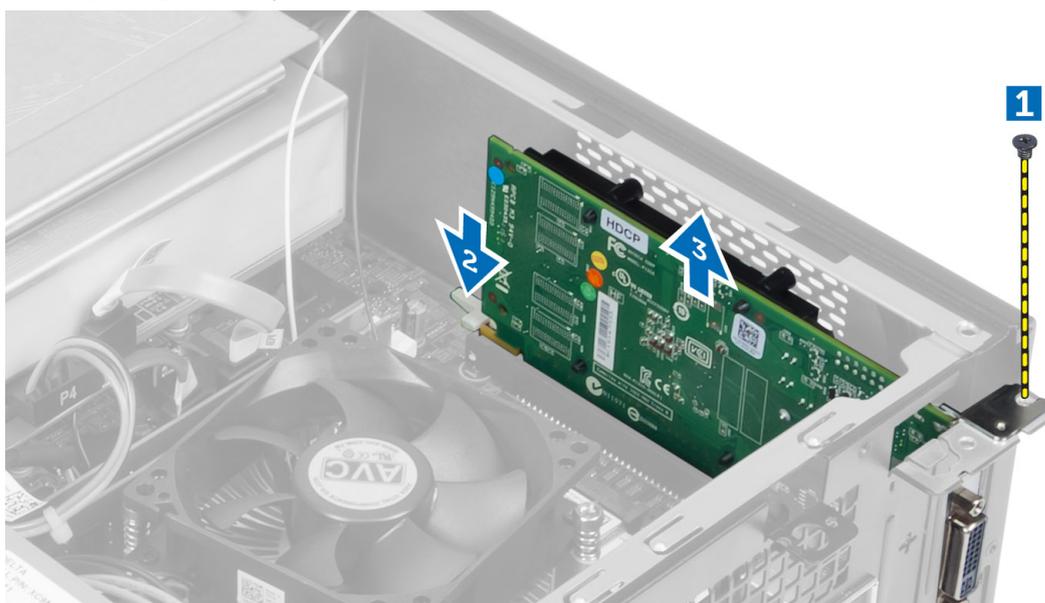
ハードディスクドライブの取り付け

1. ハードドライブをドライブケースに差し込みます。
2. ハードドライブのネジ穴とドライブケースのネジ穴の位置を合わせます。
3. ハードドライブをドライブケースに固定するネジを締めます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ドライブケース
 - b) 前面ベゼル

- c) ファンエアフローカバー
 - d) カバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

拡張カードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
3. 拡張カードをシャーシに固定しているネジを外します。固定タブを押し下げ、カードをつかんでコネクタからそっと出します。



拡張カードの取り付け

1. 拡張カードをシステム基板のコネクタに差し込み、所定の位置に固定されるまで押し下げます。
2. 拡張カードをシャーシに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ファンエアフローカバー
 - b) カバー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

コイン型電池の取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) ドライブケージ

3. リリースラッチをバッテリーと反対方向に押し、バッテリーが外れるようにし、コイン型バッテリーをコンピュータから取り出します。

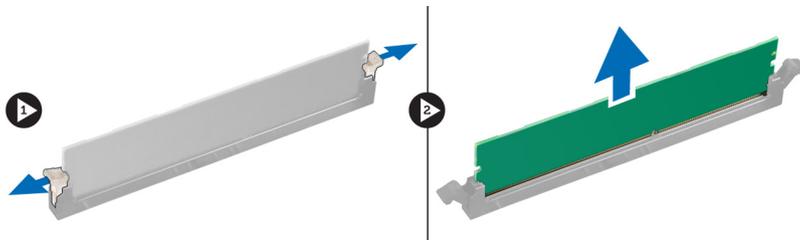


コイン型バッテリーの取り付け

1. コイン型バッテリーをシステム基板のスロットに入れます。
2. リリースラッチのバネが所定の位置に戻るまで、コイン型バッテリーを押し下げて固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ドライブケージ
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) カバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) ドライブケージ
3. メモリモジュールの両側のメモリ固定タブを押し下げて、システム基板のコンネクターからメモリモジュールを持ち上げます。

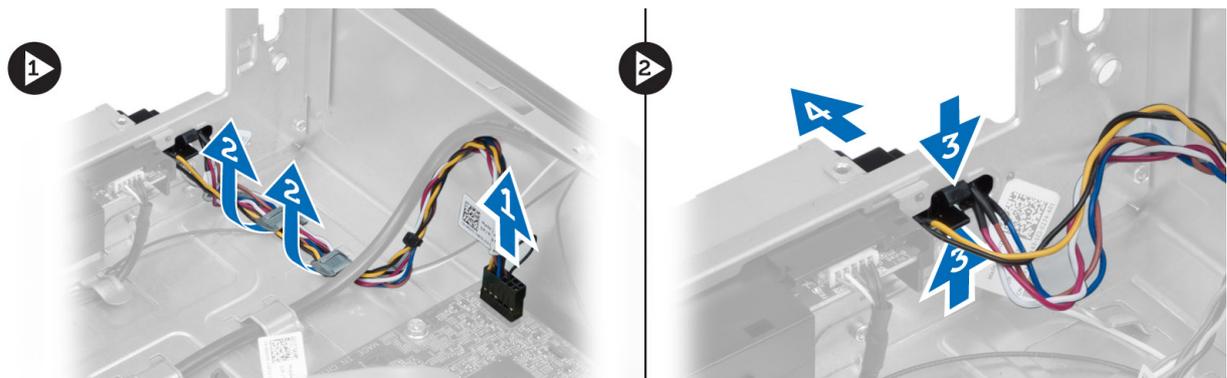


メモリの取り付け

1. メモリカードの切り込みをシステム基板のコンネクターのタブに合わせます。
2. 固定タブのバネが戻ってメモリモジュールを所定の位置に固定させるまで、メモリモジュールを押し下げます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ドライブケージ
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) カバー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源スイッチの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) 前面ベゼル
 - d) ドライブケージ
3. 電源スイッチケーブルをシステム基板から外し、ケーブルを配線チャンネルから取り外します。電源スイッチタブを押して前面パネルから電源スイッチを外し、電源スイッチとケーブルをスライドさせて、前面パネルのスロットから取り出します。

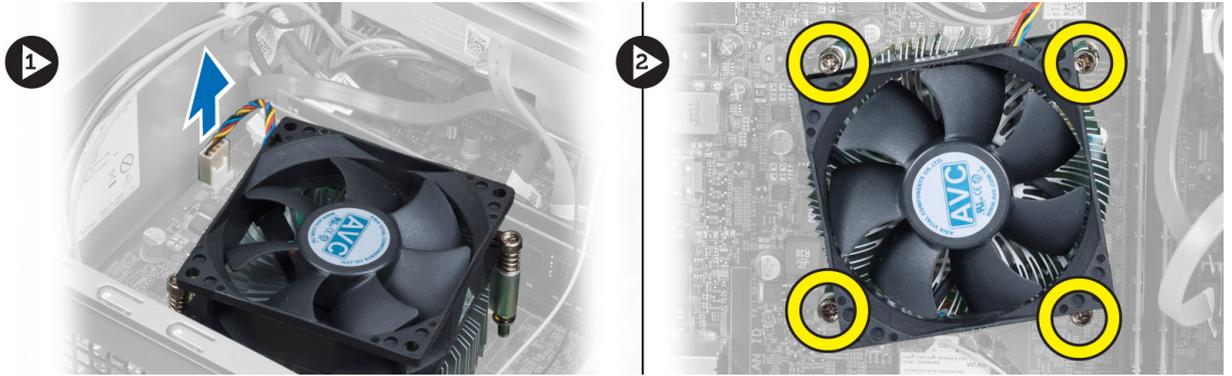


電源スイッチの取り付け

1. 電源スイッチとケーブルをスライドさせて、前面パネルのスロットから取り出します。
2. 電源スイッチタブを前面パネルのスロットに合わせ、押し込みます。
3. コンピューターの配線チャンネルを通して電源スイッチケーブルを取り付けます。
4. 電源スイッチケーブルをシステム基板に接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ドライブケージ
 - b) 前面ベゼル
 - c) ファンエアフローカバー
 - d) カバー
6. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンクアセンブリの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
3. ファンケーブルをシステム基板から取り外します。ヒートシンクアセンブリをコンピューターに固定している拘束ネジを緩め、コンピューターから取り外します。

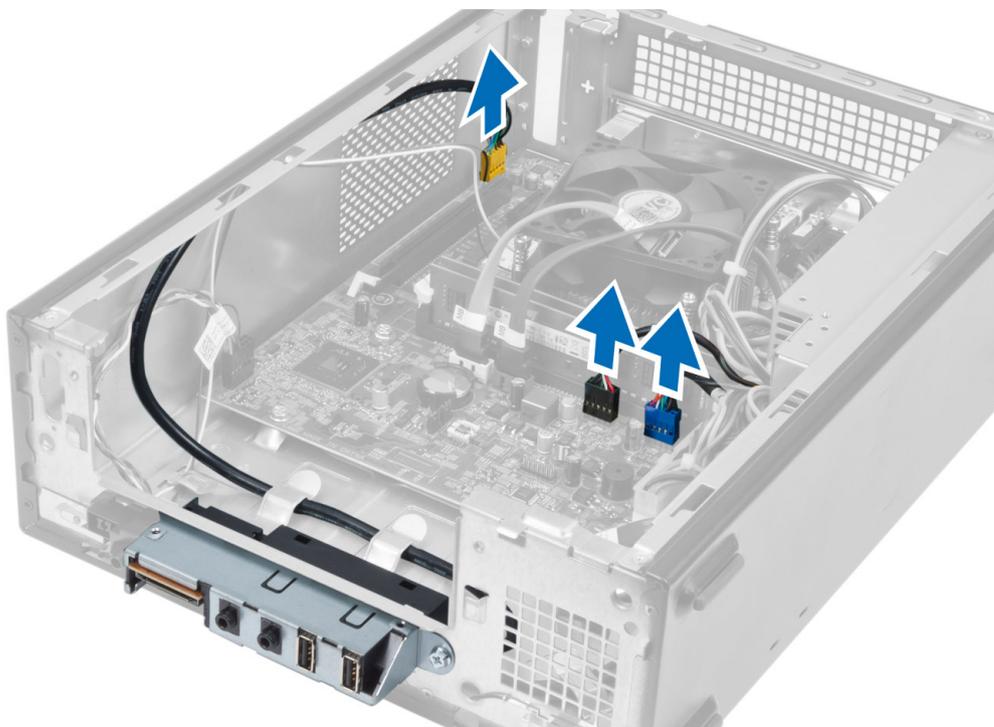


ヒートシンクアセンブリの取り付け

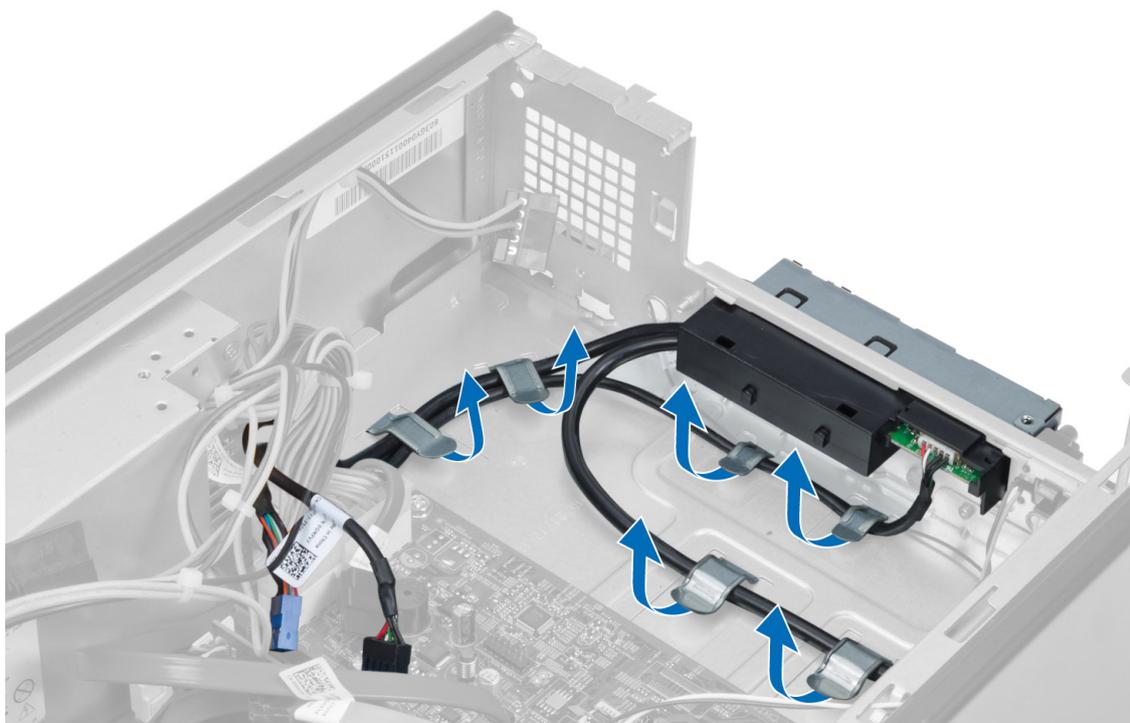
1. ヒートシンクアセンブリのネジをシステム基板のネジ穴の位置に合わせます。
2. ヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定する拘束ネジを締めます。
3. ファンケーブルをシステム基板に接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ファンエアフローカバー
 - b) カバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

入力/出力 (I/O) パネルの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) 前面ベゼル
 - d) ドライブケージ
 - e) 拡張カード
3. I/O パネルケーブルをシステム基板から取り外します。



4. シャーシの配線チャンネルから I/O パネルケーブルを取り外します。



5. I/O パネルを前面パネルに固定しているネジを外し、I/O パネルを横にスライドさせて前面パネルから引き出します。



I/O パネルの取り付け

1. 前面パネルのスロットに I/O パネルを差し込みます。
2. I/O パネルをスライドさせて前面パネルのネジ穴に合わせます。
3. I/O パネルを前面パネルに固定するネジを締めます。
4. シャーシの配線チャンネルを通して I/O パネルケーブルを取り付けます。
5. I/O パネルケーブルをシステム基板に接続します。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 拡張カード
 - b) ドライブケージ
 - c) 前面ベゼル
 - d) ファンエアフローカバー
 - e) カバー
7. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

プロセッサの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) ヒートシンクアセンブリ
3. リリースレバーを押し下げ、外側に向けて動かして固定フックから取り外します。プロセッサカバーを持ち上げ、プロセッサをソケットから取り外し、静電気防止バッグに入れます。

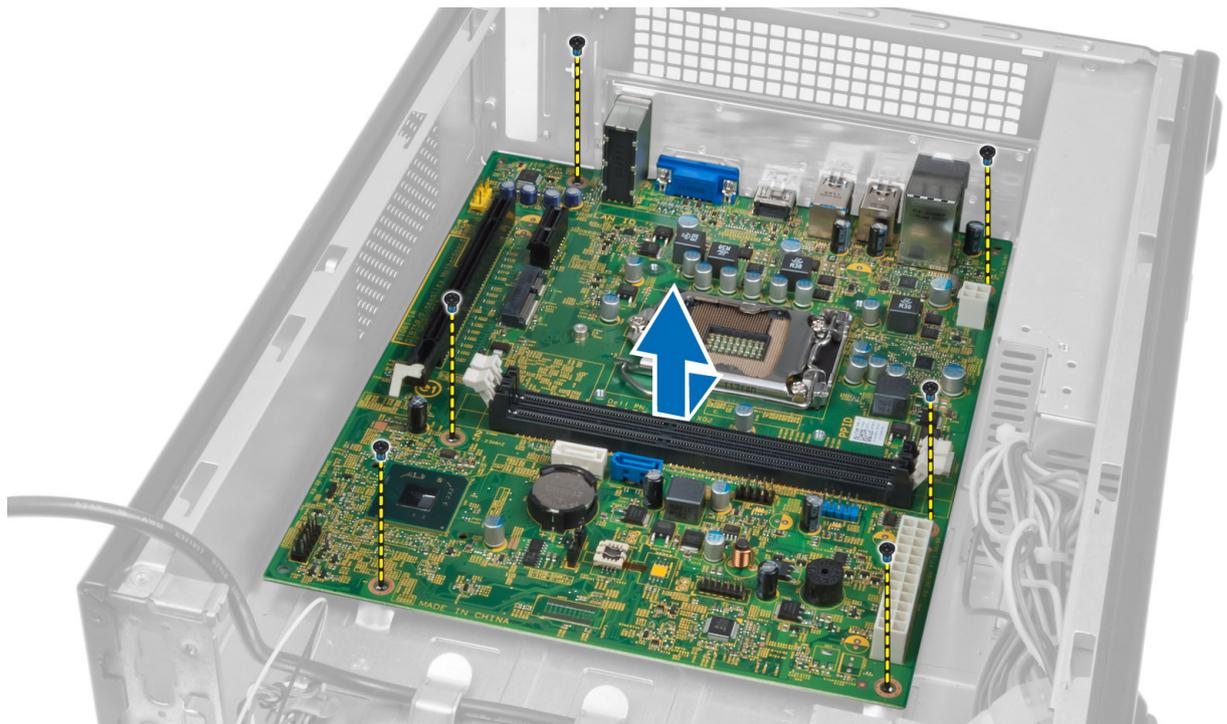


プロセッサの取り付け

1. プロセッサをプロセッサソケットに差し込みます。プロセッサが正しい位置に設置されていることを確認します。
2. プロセッサカバーを閉じます。
3. リリースレバーを押し下げ、内側に移動させて固定フックで固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ヒートシンクアセンブリ
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) カバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム基板の取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) カバー
 - b) ファンエアフローカバー
 - c) 前面ベゼル
 - d) ドライブケージ
 - e) メモリ
 - f) 拡張カード
 - g) ヒートシンクアセンブリ
 - h) プロセッサ
3. システム基板に接続されているケーブルをすべて外します。
4. 電源ユニットをシャーシに固定しているネジを外し、システム基板を持ち上げてシャーシから取り外します。



システム基板コンポーネント

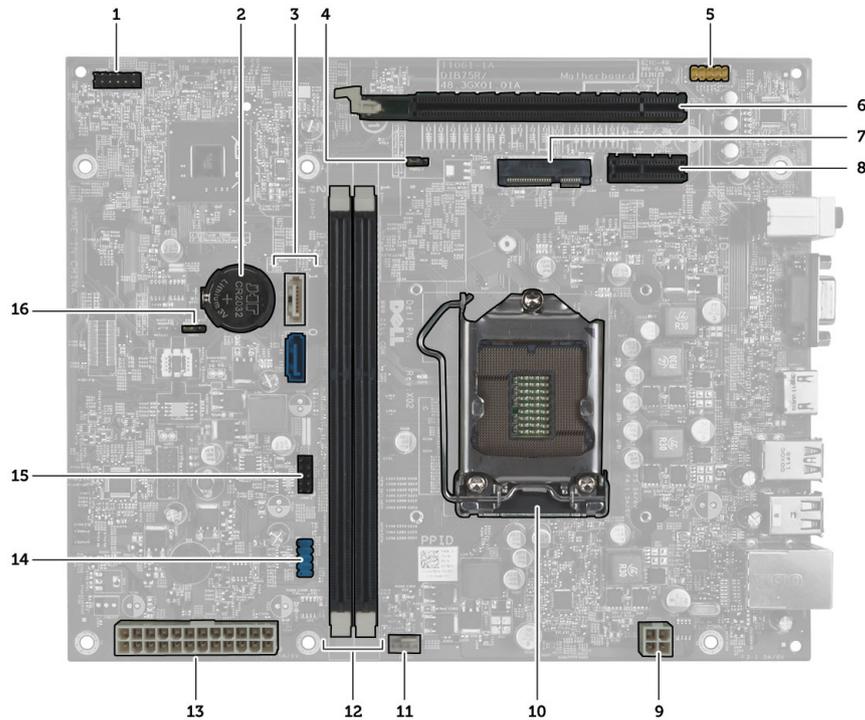


図 1. システム基板のコンポーネント

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 電源ボタンコネクタ | 10. CPU ソケット |
| 2. コイン型バッテリー | 11. プロセッサファンコネクタ |
| 3. SATA コネクタ | 12. DDR DIMM メモリスロット (2) |
| 4. パスワードリセットジャンパ | 13. ATX 24 ピン電源コネクタ |
| 5. 前面パネルオーディオコネクタ | 14. 前面パネル USB コネクタ |
| 6. PCI Express x16 スロット | 15. 前面パネル USB コネクタ |
| 7. Mini-Card スロット | 16. CMOS ジャンパ |
| 8. PCIe x1 スロット | |
| 9. 4 ピン CPU 電源コネクタ | |

システム基板の取り付け

1. システム基板とシャーシ後部のポートコネクタの位置を合わせ、システム基板をシャーシに取り付けます。
2. システム基板をシャーシに固定するネジを締めます。
3. 電源ユニットのケーブルをシステム基板に接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) プロセッサ
 - b) ヒートシンクアセンブリ
 - c) 拡張カード

4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板
 - b) プロセッサ
 - c) プロセッサファンとヒートシンク
 - d) 拡張カード
 - e) メモリ
 - f) ドライブケージ
 - g) 前面ベゼル
 - h) ファンエアフローカバー
 - i) カバー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムセットアップ

システムセットアップでコンピューターのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。システムセットアップで以下の操作が可能です:

- ハードウェアの追加または削除後に **NVRAM** 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 統合されたデバイスの有効/無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピューターのセキュリティを管理する。

起動順序

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス (例: オプティカルドライブまたはハードドライブ) にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト (POST) 中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です:

- <F2> を押してシステムセットアップにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです:

- リムーバブルドライブ (利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
 **メモ:** 診断を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

ナビゲーションキー

以下の表ではシステムセットアップのナビゲーションキーを示しています。

-  **メモ:** ほとんどのシステムセットアップオプションでは、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 1. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドに移動します。

キー	ナビゲーション
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Tab>	次のフォーカス対象領域に移動します。  メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。
<F1>	システムセットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

セットアップユーティリティの概要

セットアップユーティリティでは次のことができます。

- コンピューターのハードウェアを追加、変更、または取り外した後でシステム構成情報を変更する。
- ユーザーパスワードなど、ユーザーが選択できるオプションを設定または変更する。
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けてあるハードドライブのタイプを設定する。

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティの画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。

 **注意:** コンピューターに詳しい方以外は、このプログラムの設定を変更しないでください。変更内容によっては、コンピューターが正しく動作しなくなることがあります。

セットアップユーティリティを起動する

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. 青色の DELL のロゴが表示されたら、F2 プロンプトが表示されるまで待機してください。
3. F2 プロンプトが表示されたら、すぐに <F2> を押します。
 **メモ:** F2 プロンプトはキーボードが初期化されたことを示します。このプロンプトはすぐに消えるため、表示されるのを注意して待ち、表示されたら <F2> を押してください。プロンプトが表示される前に <F2> を押した場合、そのキーストロークは無視されます。
4. キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピューターをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

セットアップユーティリティの画面

表 2.

Menu (メニュー) — セットアップユーティリティウィンドウの最上部に表示されます。このフィールドには、セットアップオプションにアクセスするためのメニューがあります。移動するには <左矢印> キーと <右矢印> キーを押します。Menu (メニュー) オプションをハイライト表示すると、お使いのコンピューターに取り付けられたハードウェアを定義するオプションが **Options List (オプションリスト)** に一覧表示されます。

Options List (オプションリスト) — **Options Field (オプションフィールド)** **Dell Diagnostics (診断)** — セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。この右側に表示され、**Dell Diagnostics** **アップユーティリティの右側に表示されます。Dell Diagnostics (診**

のフィールドは、設置されたハードウェア、節電機能、およびセキュリティ機能などの、お使いのコンピューターの構成を定義する機能を一覧表示します。上下の矢印キーを使用して、リストを上下にスクロールします。あるオプションをハイライト表示すると、**Options Field (オプションフィールド)** にそのオプションの現在の設定と利用可能な設定が表示されます。

(**診断**) にリストされた各オプションに関する情報を表示します。このフィールドでは、お使いのコンピューターに関する情報を表示したり、現在の設定を変更することができます。現在の設定を変更するには <Enter> キーを押し、**Dell Diagnostics (診断)** に戻るには <ESC> キーを押しします。



メモ: Options Field (オプションフィールド) に表示されている設定には、変更できないものもあります。

Function Keys (ファンクションキー) — **Dell Diagnostics (診断)** の下に表示されます。アクティブなセットアップユーティリティフィールドのキーとその機能を一覧表示します。

セットアップユーティリティの画面を移動するには次のキーを使用します。

表 3.

キーストローク	動作
< F2 >	セットアップユーティリティ内で選択したアイテムに関する情報を表示します。
< Esc >	現在のビューを終了するか、またはセットアップユーティリティの Dell Diagnostics (診断) ページに移動します。
< 上矢印 > または < 下矢印 >	表示するアイテムを選択します。
< 上矢印 > または < 下矢印 >	表示するメニューを選択します。
- または +	既存のアイテムの値を変更します。
< Enter >	サブメニューを選択するか、またはコマンドを実行します。
< F9 >	セットアップデフォルトを読み込みます。
< F10 >	現在の設定を保存して、セットアップユーティリティを終了します。

セットアップユーティリティのオプション

表 4. Main (メイン)

System Information	コンピューターのモデル番号を表示します。
BIOS Version	BIOS リビジョンを表示します。
Build Date	システム BIOS がビルドされた日付を表示します。
System Date	コンピューターの内蔵カレンダーの日付を再設定します。
System Time	コンピューターの内蔵時計の時刻を再設定します。
Service Tag	コンピューターのサービスタグを表示します。

Asset Tag	コンピューターのアセットタグを表示します (利用可能な場合)。
Processor Information (プロセッサ情報)	
Processor Type	プロセッサのタイプを表示します。
L2 Cache Size	プロセッサの L2 キャッシュサイズを表示します。
L3 Cache Size	プロセッサの L3 キャッシュサイズを表示します。
Memory Information (メモリ情報)	
Memory Installed	コンピューターメモリの合計を表示します。
Memory Speed	メモリ速度を表示します。
Memory Technology	タイプとテクノロジーを表示します。
Device Information (デバイス情報)	
SATA 0	ハードドライブのモデル番号と容量を表示します。
SATA 1	ハードドライブのモデル番号と容量を表示します。
SATA 2	ハードドライブのモデル番号と容量を表示します。
SATA 3	ハードドライブのモデル番号と容量を表示します。

表 5. Advanced (詳細)

CPU Configuration (CPU の設定)		
Hyper-threading	プロセッサの Hyper-Threading を有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
Limit CPUID Value	CPUID 値の制限機能を有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
CPU XD Support	CPU XD 機能を有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
Intel Virtualization Technology	Intel Virtualization 機能を有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
Intel SpeedStep	Intel SpeedStep 機能を有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
CPU C6 Report	オペレーティングシステムへのプロセッサ省電力レポートを有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
System Configuration (システム設定)		
Onboard Audio Controller	オンボードオーディオコントローラを有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
Onboard LAN Controller	オンボード LAN コントローラを有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
Onboard LAN Boot ROM	オンボード LAN 起動 ROM を有効または無効にします。	デフォルト : Disabled (無効)
USB Controller	USB コントローラを有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)
USB Storage Boot Function	USB デバイスを起動するオプションを有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)

CPU Configuration (CPU の設定)

Power Management (電力の管理)

Restore AC Power Loss	AC 電源ロスが発生した後で AC 電源が回復したときのコンピューターの動作を指定します。	デフォルト : Power Off (電源オフ)
Wake on Lan from S4/S5	コンピューターの電源をリモートから入れることができるようにします。	デフォルト : Enabled (有効)
Auto Power On	コンピューターの電源を自動的に投入する機能を有効または無効にします。さらに、コンピューターに電源を投入する日付と時刻も指定できます。	デフォルト : Disabled (無効)

Post Behaviour (Post 動作)

NumLock Key	POST 中の NumLock 状態を有効または無効にします。	デフォルト : On (オン)
Keyboard Error Report	POST 中のキーボードエラーレポートの表示を有効または無効にします。	デフォルト : Enabled (有効)

表 6. Boot (起動)

Set Boot Priority	コンピューターをどの種類のデバイスから順番に起動するかを指定します。
Hard Disk Drives	コンピューターをどのハードドライブから起動するかを指定します。
CD/DVD ROM Drives	コンピューターが起動する CD/DVD を指定します。

表 7. Security (セキュリティ機能)

Unlock Setup Status	BIOS を編集できるかどうかを示します。
Admin Password Status	管理者パスワードが割り当てられているかどうかを示します。
System Password Status	システムパスワードが割り当てられているかどうかを示します。
Admin Password	管理者パスワードを変更または削除できます。

Exit (終了)

このセクションでは、セットアップユーティリティを終了する前に、デフォルト設定を保存、破棄、および読み込むことができます。

BIOS のアップデート

システムボードの交換時または更新が可能な場合、BIOS (システムセットアップ) をアップデートされることをお勧めします。ラップトップの場合、お使いのコンピューターのバッテリーがフル充電されていて電源プラグに接続されていることを確認してください。

1. コンピューターを再起動します。
2. support.dell.com/support/downloads にアクセスします。

3. お使いのコンピューターのサービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちの場合、次の手順に従います。
 - 📌 **メモ:** デスクトップの場合は、サービスタグラベルは、コンピューター正面に記載されています。
 - 📌 **メモ:** ラップトップの場合は、サービスタグラベルは、コンピューター底面に記載されています。
 - a) サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、送信をクリックします。
 - b) 送信をクリックし、ステップ 5 に進みます。
4. お使いのコンピューターのサービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちではない場合、次のいずれかの手順に従います。
 - a) 自動的にサービスタグを検出
 - b) 自分の製品およびサービスリストから選択
 - c) 全 Dell 製品リストから選択
5. アプリケーションおよびドライバー画面で、オペレーティングシステムドロップダウンリストから BIOS を選択します。
6. 最新の BIOS ファイルを選んでファイルをダウンロードしますをクリックします。
7. 希望のダウンロード方法を以下から選択してくださいウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、今すぐダウンロードをクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
8. ファイルをコンピューターに保存する場合は、保存をクリックします。
9. 実行をクリックしてお使いのコンピューターに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

忘れたパスワードのクリア

システムのソフトウェアセキュリティ機能には、システムパスワードやセットアップパスワードがあります。パスワードジャンパは現在使用しているパスワードを無効にします。パスワードリセットジャンパには3つのピンが存在します。

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. ファンエアフローカバーを取り外します。
4. システム基板上でパスワードリセットジャンパを見つけます。「システム基板のコンポーネント」を参照してください。
5. 2ピンジャンププラグを2番ピンと3番ピンから外し、1番ピンと2番ピンに取り付けます。



6. ファンエアフローカバーを取り付けます。
7. カバーを取り付けます。

8. コンピューターをコンセントに接続し、コンピューターの電源を入れてパスワードをクリアします。
9. コンピューターの電源を切り、コンセントから電源ケーブルを外します。
10. カバーを取り外します。
11. ファンエアフローカバーを取り外します。
12. ジャンパを2番ピンと3番ピンに取り付け直します。



13. ファンエアフローカバーを取り付けます。
14. カバーを取り付けます。
15. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。
16. コンピューターの電源を入れます。
17. 「セットアップユーティリティ」に進み、新しいシステムパスワードまたはセットアップパスワードを入力します。

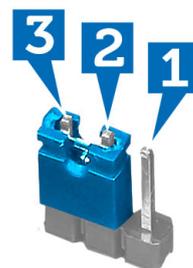
CMOS のクリア

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. ファンエアフローカバーを取り外します。
4. 前面ベゼルを取り外します。
5. ドライブケージを取り外します。
6. システム基板の CMOS ジャンパを見つけます。システム基板のコンポーネントを参照してください。
7. 2ピンジャンパプラグを2番ピンと3番ピンから外し、1番ピンと2番ピンに取り付けます。



8. ドライブケージを取り付けます。

9. 前面ベゼルを取り付けます。
10. ファンエアフローカバーを取り付けます。
11. カバーを取り付けます。
12. コンピューターをコンセントに接続し、コンピューターの電源を入れて CMOS をクリアします。
13. コンピューターの電源を切り、コンセントから電源ケーブルを外します。
14. カバーを取り外します。
15. ファンエアフローカバーを取り外します。
16. 前面ベゼルを取り外します。
17. ドライブケージを取り外します。
18. ジャンパを 2 番ピンと 3 番ピンに取り付け直します。



19. ドライブケージを取り付けます。
20. 前面ベゼルを取り付けます。
21. ファンエアフローカバーを取り付けます。
22. カバーを取り付けます。
23. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。
24. コンピューターの電源を入れます。

システムパスワードとセットアップパスワード

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピューターを保護することができます。

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いのコンピューターの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

- △ **注意:** パスワード機能は、コンピューター内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。
- △ **注意:** コンピューターをロックせずに席を離れると、コンピューター上のデータに誰でもアクセスできます。
- 📌 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。

5. <Esc>を押すと、変更の保存を要求するメッセージが表示されます。
6. <Y>を押して変更を保存しシステムセットアップを終了します。
コンピューターが再起動します。

システムパスワードを無効にする

システムのソフトウェアセキュリティ機能には、システムパスワードおよびセットアップパスワードが含まれています。パスワードジャンパは現在使用中のパスワードを無効にします。

 **メモ:** 以下の手順を使用して、忘れてしまったパスワードを無効にすることもできます。

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. カバーを取り外します。
3. システム基板の PSWD ジャンパを見つけます。
4. システム基板から PSWD ジャンパを取り外します。

 **メモ:** コンピューターがジャンパなしで起動するまでは、既存のパスワードは無効化（消去）されません。

5. カバーを取り付けます。

 **メモ:** PSWD ジャンパを取り付けた状態のまま新しいシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはどちらか一方を割り当てると、システムは次回の起動時に新しいパスワードを無効にします。

6. コンピューターをコンセントに接続し、電源スイッチを入れます。
7. コンピューターの電源を切り、コンセントから電源ケーブルを取り外します。
8. カバーを取り外します。
9. システム基板の PSWD ジャンパを取り付けます。
10. カバーを取り付けます。
11. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。
12. コンピューターの電源を入れます。
13. システムセットアップに進み、新しいシステムパスワードまたはセットアップパスワードを割り当てます。システムパスワードのセットアップを参照してください。

診断

コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に **ePSA** 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

ePSA（強化された起動前システムアセスメント）診断

ePSA 診断(システム診断としても知られている)ではハードウェアの完全なチェックを実施します。ePSA には BIOS が埋め込まれており、内部的に BIOS によって起動されます。埋め込まれたシステム診断では以下のことが可能な特定のデバイスまたはデバイスグループにオプションのセットを提供します:

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

 **注意:** システム診断は、お使いのコンピューターをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピューターで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。

 **メモ:** 特定のデバイスについてはユーザーの対話が必要なテストもあります。診断テストを実行する際にコンピューター端末の前に常にいなければなりません。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターが起動すると、Dell のロゴが表示されるように <F12> キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
ePSA 起動前システムアセスメントウィンドウが表示され、コンピューター内で検出された全デバイスがリストアップされます。診断が検出された全デバイスのテストを開始します。
4. 特定のデバイスで診断テストを実行する場合、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
5. 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行**をクリックします。
6. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

仕様

 **メモ:** 提供される内容は地域によって異なります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。お使いのコンピューターの設定については、[スタート](#) → [ヘルプとサポート](#) をクリックして、お使いのコンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

表 8. System Information (システム情報)

System Information (システム情報)	
プロセッサ	Intel Celeron
L2 キャッシュ	256 KB
L3 キャッシュ	最大 6 MB
システムチップセット	Intel B75 Express Chipset
DMI 速度	5 GT/s
プロセッサデータ幅	64 ビット

表 9. 寸法

寸法	
高さ	271.00 mm
幅	100.00 mm
長さ	376.20 mm
重量	5.90 kg

表 10. メモリ

メモリ	
コネクタ	内部アクセス用 DDR3 DIMM ソケット (2)
種類	バッファなし、非 ECC、デュアルチャネル DDR3
速度	最大 1600 MHz
容量	2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB
	 メモ: コンピューターでサポートされる容量は、ご注文いただいた構成によって異なる場合があります。
サポートされている構成	2 GB、4 GB、6 GB、および 8 GB
最小メモリ	2 GB

メモリ	
最大メモリ	16 GB

表 11. ビデオ

ビデオ	
ビデオコントローラー	
内蔵	Intel HD グラフィックス
ディスクリート	PCI Express x16、シングル幅、フルレンジスグラフィックスカード 1 枚
ビデオメモリ	
内蔵	64 MB
ディスクリート	1 GB ディスクリートビデオメモリ
	メモ: 使用可能なビデオメモリは、コンピューターに搭載されているグラフィックスカードによって異なります。

表 12. ポート

ポート	
背面パネルポート	
ネットワークアダプター	RJ45 ポート 1 個
USB	4 ピン USB 2.0 対応ポート 4 個 9 ピン USB 3.0 対応ポート 2 個
オーディオ	オーディオ入力/出力ポート (3) オーディオ入力/マイクポート (1)
ビデオ	VGA ポート 1 個 HDMI ポート 1 個
前面パネルポート	
オーディオ	オーディオ出力/ヘッドホンポート (1) オーディオ入力/マイクポート (1)
USB	9 ピン USB 3.0 対応ポート 2 個

表 13. 通信

通信	
ネットワークアダプター	10/100/1000 Mbps 内蔵ネットワークカード
ワイヤレス	Wi-Fi および Bluetooth ワイヤレステクノロジー (オプション)

表 14. オーディオ

オーディオ	
種類	内蔵 Intel ハイ・デフィニッション・オーディオ
Contoroller (コントローラー)	Realtek ALC662VD

表 15. ドライブ

ドライブ	
外部アクセス可能	Blu-ray Disc コンボ (オプション)、Blu-ray Disc Writer (オプション)、または DVD+/-RW 用の 5.25 インチドライブベイ 1 個
内部アクセス用	SATA ハードドライブ用 3.5 インチドライブベイ 1 個 SATA SSD ドライブ (オプション) 1 台

表 16. 拡張バス

拡張バス	
PCI Express x1	
コネクタ	(1)
コネクタサイズ	36 ピン
PCI Express x16	
コネクタ	(1)
コネクタサイズ	164 ピン
PCI-E ミニカード	
コネクタ	(1)
コネクタサイズ	52 ピン

表 17. 電源

電源	
入力電圧	100 VAC - 127 VAC / 200 VAC - 240 VAC
入力周波数	50/60 Hz
定格入力電流	6.0 A/3.0 A

表 18. 環境

環境	
温度 :	
動作時	10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F)
保管時	-10 ~ 45 °C (-14 °F ~ 113 °F)

環境

相対湿度 :	20 ~ 80 パーセント (結露しないこと)
最大振動 :	
動作時	0.25 Grms
非動作時	2.20 Grms
最大衝撃 :	
動作時	40 G (2 ms、51 cm/s の速度変化)
非動作時	50 G (26 ms、813 cm/s の速度変化)
高度 :	
動作時	-16 ~ 3048 m (-50 ~ 10,000 フィート)
	 メモ: 高度が 2,950 フィートを超えると、動作時の許容最大温度は、550 フィートごとに 1°F ずつ低下します。
保管時	-15.20 ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート)
空気中浮遊汚染物質レベル	G2 またはそれ未満 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **support.dell.com** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. 米国在住以外のお客様は、**support.dell.com** ページ下の国コードを選択してください。**All** を選択するとすべての選択肢が表示されます。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。